



巨匠が描く版画、巧芸画

中津川市 故平山郁夫さんの作品展

シルクロードや仏教を題材にした作品で知られる日本画家の平山郁夫さん(1930～2009年)の作品展が1日、中津川市付知町のアートピア付知交芸プラザで始まった。4日まで。

全国でチャリティー絵画展などを開く「ほるぶ、エアアンドアイ」(大阪府)が主催し、県内では初めて開催。会場には、日本画家としての転機となった三藏法師の旅路を描いた「仏教伝来」や、朝と夜の砂漠をラクダの列がゆく「パルミラ遺跡を行く」など、版画と巧芸画計約40点が並んでいる。

また、同時開催で東山魁夷や中島千波らの作品も並ぶ。収益の一部は熊本地震、東日本大震災の被災地支援に役立てられる。
(有我友香理)



平山さんの版画が並んだ会場＝中津川市のアートピア付知交芸プラザで

平和への祈りが詰まった日本画

中津川 故平山郁夫さんの作品展

日本画家の故平山郁夫さんの作品展「シルクロード・仏教伝来・平和への祈り」が1日、中津川市のアートピア付知交芸プラザで始まった。4日まで。(星野恵一)

白馬に乗ってインドから戻る三藏法師を描いた「仏教伝来」や、砂漠を行くラクダの隊列を三尊仏が見守る「パルミラ遺跡を行く」などのシルクロード作品をはじめ、六十年以上にわたる創作活動で手掛けた代表作四十点の版画を展示販売されている。

東山魁夷さんや付知町出身の熊谷守一さんの作品も展示されている。

出版などを手掛ける「ほるぶ、エアアンドアイ」(大阪府)が企画した。売り上げの一部は東日本大震災子ども支援募金や熊本地震被災者支援に充てる。同社担当者は「平山さんが原爆被爆を原体験にして、平和への祈りを込めて描いた作品を見てほしい」と話している。